

こころからだに、
おいしいものを。



2025年3月4日

各 位

会 社 名 ダイドグループホールディングス株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役社長 高松 富也
(コード番号：2590 東証プライム市場)
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 三原 真紀子
電 話 番 号 06-7166-0077

「中期経営計画 2026」の見直しに関するお知らせ

当社グループは、2022年1月14日に公表した「中期経営計画 2026」に関して、近年の内部・外部環境の変化を踏まえた見直しを行いましたので、お知らせします。

記

1. 見直しの背景等

当社グループは、2030年のありたい姿を示す「グループミッション 2030」として、「世界中の人々の楽しく健やかな暮らしをクリエイトする DyDo グループへ」を掲げています。そして、その実現に向けた「成長ステージ」として、5カ年（2023年1月期～2027年1月期）の「中期経営計画 2026」を策定し、「国内飲料事業の再成長」「海外飲料事業戦略の再構築」「非飲料領域の強化・育成」の3つの基本方針のもと、取り組みを推進してきました。

その結果、2023年1月にアサヒ飲料株式会社との共同出資により自販機の直販チャンネルを一体的に運営する新会社としてダイナミックベンディングネットワーク株式会社を設立したほか、2024年2月にはポーランドで清涼飲料の製造・販売を行う Wosana S. A. を子会社化するなど、中長期的な企業価値向上に向けた事業基盤を強化しました。また、2022年以降、国際情勢の変化などを背景に、グループ各社において原材料価格をはじめとするコストが上昇した一方、トルコ飲料事業においては急速なインフレが進行するなど、当社グループを取り巻く事業環境は大きく変化しています。

このような内部・外部環境の変化を踏まえ、「中期経営計画 2026」の残期間（2026年1月期～2027年1月期）における計画の見直しを行いました。基本方針は維持しつつ、経営指標の目標値、事業戦略、投資資金／資金配分を見直しています。本中期経営計画において将来の成長に向けた投資を実行するとともに、収益体質への転換を図ることで、次の「飛躍ステージ」に向けた再成長軌道への道筋を確かなものへとしていきます。

2. 見直しの内容

(1) 経営指標の目標^{※1}

(百万円)

	最終年度（2027年1月期）目標	
	当初目標値	修正後目標値
売上高成長率（CAGR） ^{※2}	+3% ^{※3}	+9%
（参考）連結売上高	175,000	255,300
営業利益率	4%	3%
（参考）連結営業利益	6,800	7,800
連結 ROIC ^{※4}	6%	4%

※1 超インフレ会計適用前、※2 2021年度比、※3 為替中立ベース、※4 投下資本はセグメントへの投下分

(2) 基本方針の区分における事業別の ROIC 目標^{※1}

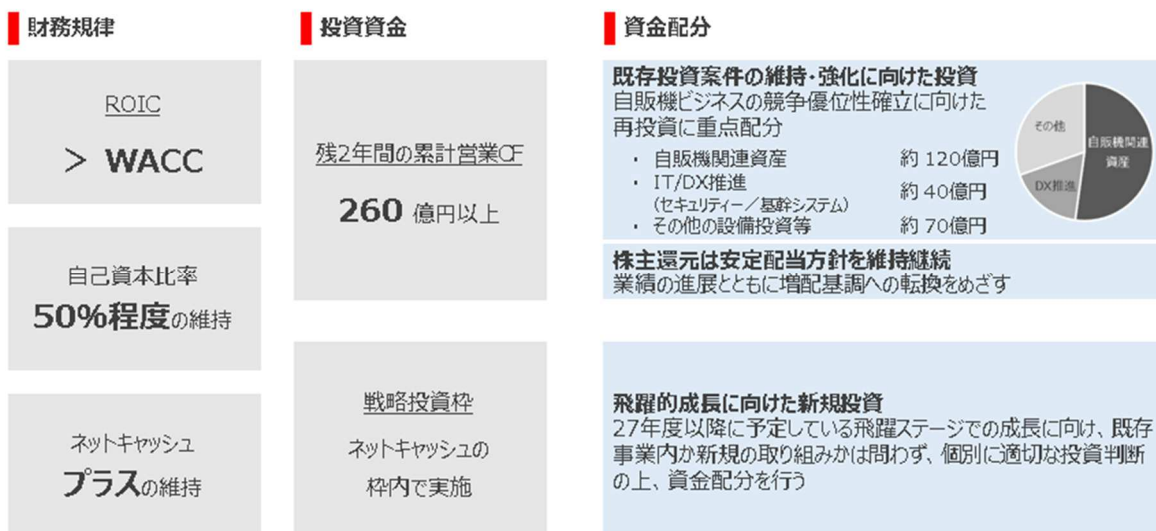
	最終年度（2027年1月期）目標	
	当初目標値	修正後目標値
国内飲料事業 ^{※2}	13%	4%
海外飲料事業	3%	13%
非飲料事業 ^{※3}	8%	0%

※1 超インフレ会計適用前、投下資本はセグメントへの投下分、※2 サプリメント通販事業を除く

※3 国内飲料事業のうちサプリメント通販事業、医薬品関連事業、食品事業、希少疾病用医薬品事業

(3) 財務規律・投資資金・資金配分

当社グループは、持続的成長の実現に向け、財務健全性を維持できる適正水準の自己資本比率を維持しながら、将来の成長が期待できる分野へ投資するとともに、株主の皆様への安定的な還元を基本的な考え方としています。そして、再投資した資本をもとに資本コストを上回るリターンへとつなげていくことで、さらなる成長投資と株主還元の実現をめざしています。



「中期経営計画2026」の見直し内容の詳細につきましては、本日公表の「2024年度（2025年1月期）決算概要」をご覧ください。

以上